

秋田市でメガソーラー建設を受注

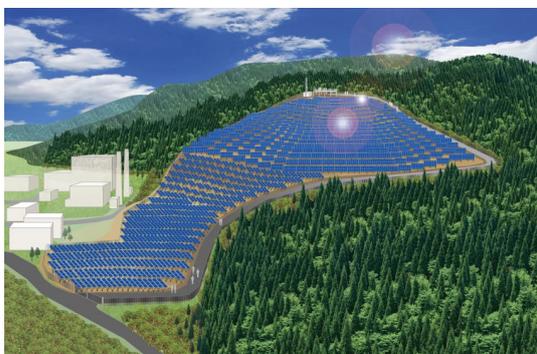
JFEエンジニアリング株式会社（社長：岸本純幸、本社：東京都千代田区）は、このたび、秋田市が包括型施設リース契約方式で行う「秋田市メガソーラー事業」を受注しましたのでお知らせします。

本事業は「秋田市地球温暖化対策実行計画」の一つとして、秋田市が太陽光発電設備（パネル：2, 200kW、パワーコンディショナー：1, 500kW）を建設するものです。この事業において当社は、設計施工および20年間にわたる設備維持管理を請け負います。

当社は、「秋田市総合環境センター内一般廃棄物処分場跡地」に発電所を建設するという公募型プロポーザル方式の入札において、東京センチュリーリース株式会社（社長：浅田俊一、本社：東京都千代田区）と瀬下建設工業株式会社（社長：瀬下和夫、本社：秋田市）と共同で技術提案を行い、1位の評価点を獲得しました。

この技術提案では、地形を生かした太陽光パネルの配置計画によって年間日照時間が少ない雪国でも最大発電量（初年度想定発電量：209万kWh）を確保しています。加えて、廃棄物処分場跡地という軟弱な地盤に対する安定した基礎構造および架台に関する提案も行い、これらが高く評価されました。

当社はこれからも、世界最高の技術をもって、メガソーラー発電プラントをはじめとする再生可能エネルギープラントの導入拡大に向けて積極的に提案してまいります。



■完成予想パース



■3月27日に行われた安全祈願祭出席者
左から当社半澤巖専務執行役員、東京センチュリーリース（株）雪矢正隆常務執行役員、瀬下建設工業（株）瀬下和夫代表取締役

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

JFEエンジニアリング株式会社 総務部広報室